

まめまめ通信



さいわい
こども
クリニック

2025. Jun.
Vol. 32 No. 6

百日咳が流行しています

新型コロナウイルス対策が緩和された影響もあり、他の感染症同様、百日咳が流行しています。百日咳は強い咳が特徴ですが、大人やワクチンをした子どもでは症状がはっきりしないことがあります。ワクチン接種前の乳児早期の赤ちゃんにとっては重大な病気で、咳がひどいばかりではなく、呼吸が止まったり脳炎を起こしたりすることがあります。感染対策は他の感染症と一緒に、手洗いと咳エチケットです。新生児、乳児早期の赤ちゃんがいるご家庭ではいつもに増して意識しましょう。(平野)



電子カルテ入替について

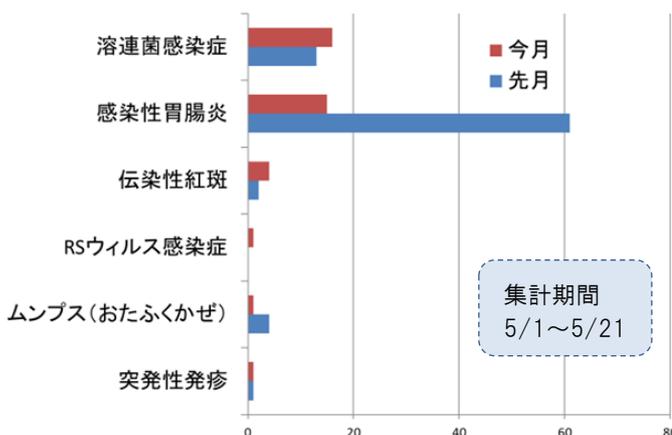
電子カルテ入替えに伴い、診察及び会計でお待たせする場合がございます。また、インストラクターが同席させていただく場合があります。お忙しいところ恐れ入りますが、どうぞご了承下さい。(ドラ)

みんなで作ろう！七夕飾り



7月7日は七夕です！サンルームにて『みんなで作ろう！』七夕飾りを行います。実施期間は6/27(金)～7/7(月)です。短冊に願い事を書いてみんなで楽しく飾ってね。短冊は受付にありますのでスタッフにお声かけください。(山口)

感染症だより



溶連菌感染症が再び増えてきました。熱とのどの痛みその他、体が赤くざらついてかゆいことがあります。昨年からの流行が続いていますが、繰り返して感染します。抗菌薬が有効です。(ヒ)

じーっと見ているということ



外来保育士
の
コーナー

家族の中で過ごすことが主だった子どもたちが、通園施設や子育て広場などに行くと、身の回りには様々な人がいることに気づきます。やがて、その場所や人に慣れてくると安心して過ごせるようになり、周囲の子どもたちなどへの興味関心が高まってきます。一緒に遊んでいないように見えることがありますが、実はよく観察をしています。新しい刺激をもらって「やってみたい」気持ちが大きくなると、玩具などに手が伸び始めるかもしれません。暖かく見守ってあげたいですね。(Y)

雨の季節です



向瀬 Dr. の
ひとりごと

早いもので、もう蒸し蒸しする季節になったようです。曇りや雨の日が続くと、気分が沈んだり、身体がだるく感じたりすることがありますね。これは気圧や湿度の変化によって、自律神経が乱れやすくなるためです。無理をせず、朝はカーテンを開けて日光をあびたり、軽くストレッチをしたりすることで、心と体のバランスを整えることができます。新年度の疲れが出る頃でもあります。よく食べ、よく寝て、少し動いて、自分をいたわる時間を大切にしましょう。

水無月



サービスの
コーナー

【6月の折り紙】

シャツとびよんかえる

【おすすめ絵本】

「としょかん ライオン」
作・絵: ミシェル・ヌードセン
絵: ケビン・ホークス
訳: 福本 由美子



最新の診療予定

こちらの QR コードからご確認ください
* 12:30～13:30 はお電話による受付ができません。ご了承ください。



時間外電話相談のご案内

①母と子の健康相談室 *365 日対応 #8000

②クリニック代表電話 *木・日曜日を除く時間外 22 時迄
042-536-7280

専門のスタッフが時間外も相談をお受けします。音声ガイダンスが流れますので症状についてのご相談をお選びください。

お友だちが食べている様子を見て食欲がわくことがあります。普段から食べている量、食べ慣れているものをお持ちください。食べ慣れているものでしたら買ったものでもOK！一人ひとりのペースで食べられるようにお手伝いしています。



お弁当+フルーツ

好きな食べ物が入っていると、気分も上がって食べたい気持ちが増えます。フルーツがあると、食後のデザートのお楽しみ！にして頑張れます。



うどんなどの麺類

食欲がないときでも、麺類はのど越しがよく食べやすいですね。麺類は食べやすい長さにカットしてお持ちください。汁はスープジャーやペットボトル等でお持ちになれます。



小さいおにぎり

回数を分けて食べるときに便利です。ふりかけなどを混ぜてもいいですね。

【食事のときは】

慌てて食べて喉に詰まらせないよう、席についたあとは、絵本の読み聞かせをするなど、落ち着いてから食べ始めます。

～ ご協力ください ～

ミニトマトやぶどうのようにつるつるした球形のものは、のどの奥にスルとはまりこんで呼吸ができなくなることがあります。お弁当に入れる際は、そのままではなく、**カット**していただきますようお願いいたします。

※事故防止のため「枝豆」はお持ちにならないようお願いいたします。



熱中症は主に初夏から夏にかけて、環境に体が適応できないことで起こる症状のことです。暑い日だけでなく、湿度の高い時もおこりやすいため、これからの季節は注意が必要です！

熱中症を予防しましょう



< 暑さを避ける 身を守る >

- ① 室内では扇風機やエアコンを使って、風通しを良く
- ② 屋外では、帽子や日陰を利用
- ③ WBGT 値(暑さ指数)も参考に
- ④ 保冷剤の利用や通気性・吸湿性のある衣類の着用
- ⑤ こまめな休憩と十分な睡眠

< こまめな水分補給 >

乳児・・・アクアライト・経口補水液、授乳中の児は母乳やミルク
小児・・・経口補水液やスポーツドリンクも有効、みそ汁の上澄みも可 K.S

